

【法的根拠】
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

学校の教育目標
・心豊かな思いやりのある子
・よく考え進んでやりとおす子
・健康な明るい子

【地域の実情】
【学校の実情】
【児童の実態】
【教師の願い】
【保護者の願い】

学校の道徳教育の重点目標
個性を伸ばすことで自己肯定感を高め、互いに認め合うことができる。

各学年の指導の重点

第1学年及び第2学年 自分の特徴に気付く。 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。	第3学年及び第4学年 自分の特徴に気付く。長所を伸ばす。 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。	第5学年及び第6学年 自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばす。自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な気持ちを持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重する。 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくることに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努める。
---	--	---

各教科

国語 道徳的心情を養う基礎となる思考力、想像力、言語感覚を養う。物語文などを通して、登場人物の
社会 調べたり、学び合ったりする活動を通して社会生活を理解し、地域や、人々の営みのすばらしさに気づき、日本や外国の人々への共感と理解を深
算数 見通しを持ち、筋道を立てて考え、数理的に処理する力を養うとともに、工夫して生活をよりよくしようとする態度を育てる。
理科 自然との触れ合いや動植物の飼育・栽培活動を通して、自他の生命を尊重する態度を育てる。
生活 自然や人とのかかわる活動を通して生命を大切にしたり、相手のことを思いやったりする心情を養う。
音楽 表現、鑑賞活動を通して、音楽に対する感性を育て、互いのよさを尊重する心を養う。
図画工作 造形的な創造活動を通して、表現する喜びを味わい、自他の個性を感じとり、協力し合って活動する態度を育てる。
家庭 造形的な創造活動を通して、表現する喜びを味わい、自他の個性を感じとり、協力し合って活動する態度を育てる。
体育 心身の健康・安全への理解を深め、自他の心身を大切にしようとする心情や、協力し合って活動する態度を育てる。
外国語 外国語を通じてコミュニケーション能力の素地を養うとともに、言語や文化について体験的に理解を深めることで、日本人としての自覚をもって世界の人々と向き合おうとする態度を育てる。
読書科 様々な本を通じて、相手のことを思いやったり、気持ちを考えたりしようとする態度を育てる。

特別の教科 道徳

各学年の重点内容項目

1年	A-(4) 個性の伸長 C-(14) よりよい学校生活、集団生活の充実
2年	A-(4) 個性の伸長 C-(14) よりよい学校生活、集団生活の充実
3年	A-(4) 個性の伸長 B-(10) 相互理解、寛容 C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実
4年	A-(4) 個性の伸長 B-(10) 相互理解、寛容 C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実
5年	A-(4) 個性の伸長 B-(11) 相互理解、寛容 C-(16) よりよい学校生活、集団生活の充実
6年	A-(4) 個性の伸長 B-(11) 相互理解、寛容 C-(16) よりよい学校生活、集団生活の充実

指導方針
年間指導計画に基づき、一人一人の児童が道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を育成する。
・話し合いを通して自己を振り返ることができる。
・子どもたちの心に響くような肥料の開発や指導の工夫や改善。
・体験を生かした指導の工夫。
・子どもと共に考え、悩み、感動を共有する指導。

指導の工夫
・ペアやグループでの交流を通じ、考えや思いを深められるようにする。

外国語活動

外国語を通じてコミュニケーション能力の素地を養うとともに、言語や文化について体験的に理解を深めることで、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努めようとする態度を育てる。

総合的な学習の時間

自然体験やボランティア活動等の社会体験を通して、道徳的実践力を育てる。

特別活動

学級活動
話し合い活動や係活動を通して、学級生活の向上を図り、思いやりの心を持ち、望ましい人間関係を育てる。

児童会活動
学校生活の向上のために、全校児童のことを考え、互いの創意を生かして課題解決に取り組む

クラブ活動
共通の興味関心を追求する活動を通して、協力し合う態度や思いやりの心を育てる。

学校行事
行事への自主的、積極的な参加を通して、集団の一員としての自覚を深め、道徳的な実践意欲

生活指導

- ・望ましい生活習慣を身に付け、学校のきまりを理解し、規則正しい生活ができるようにする。
- ・相手の立場を思いやれる子どもを育てる。

環境整備

- ・安全な環境を整備するとともに、正しい言語表現、信頼し合える人間関係を育てる。
- ・身近な地域の自然環境に関心をもつ教育活動を積極的に行う。
- ・読書活動や調べ学習を推進し、

家庭・地域との連携

- ・家庭と協力して基本的な生活習慣を身に付けさせる。
- ・地域学習を通して、地域社会における好ましい人間関係をはかる。
- ・地域の自然や文化に親しみ、郷土を愛する心を育てる。

推進体制

- ・全教師が協力し、道徳教育の全体計画と年間指導計画を作成する。
- ・開かれた学校を目指し、地域の人々の協力体制をつくる。
- ・道徳地区公開講座を実施する。